

2007年3月1日

印旛普及だより

第9号

〒285-0026 佐倉市錦木仲田町 8-1 TEL:043-483-1130 FAX:043-485-9502
ホームページアドレス <http://www.agri.pref.chiba.lg.jp/apcenter/inba/>
発行：印旛農林振興センター振興普及部改良普及課・印旛地域農林業振興普及協議会

印旛青年農業者会議を開催

平成十八年十二月六日(水)、
経営体育成セミナーの一環として
印旛地域青年農業者会議を開催
しました。農業経営や農家生
活等日頃の体験を通じて考えて
いることをまとめた「農業青年

の主
張」と、
農業経
営の課
題を解
決する
ために
取り組
んだ
「プロ



ジェクト発表」を行いました。
合計53名の活動報告がまとめ
られ、厳正な審査の結果、農業
青年の主張では八街市の小山直
樹さん、プロジェクト発表では
成田市の山倉良太さんが最優秀
賞を受賞しました。最優秀賞の
二人に加えプロジェクト発表で

優秀賞を受賞した印旛村の櫻井
修一さんは、印旛地区の代表と
して県大会に参加することにな
りました。

青年の
主張の部
で最優秀
賞の選ば
れた小山
さんは、
大学在学
中の農業
への思い
や就農に



至る経過、就農後に実感した改
善点や今後の目標を「自分らし
さ」と題して発表しました。

プロジェクトの部で最優秀賞
に選ばれた山倉さんは、「にんじ
ん栽培における太陽熱消毒の効
果検証」と題し、無農薬栽培に
おける太陽熱を利用した雑草の
抑制効果を発表しました。にん
じんを栽培するほ場にマルチを
張り地温を50度以上に上げ、

雑草の発生を抑制する取り組み
の経過や結果がよくまとめられ
た発表でした。

プロジェクトの部優秀賞の櫻
井さんは「緑肥導入によるセン
チュウ抑制効果」と題し、土壌
消毒剤に変わる技術として緑肥
作物の効果を検証しその効果を
発表しました。

他の発表についても、課題を
よくとらえ、今後の青年農業者
の活躍を期待させる内容でした。
新規受講生を募集しています!

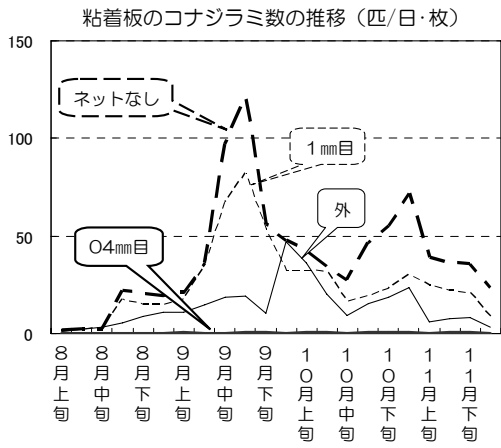
農林振興センターが、開催し
ている経営体育成セミナーは、
同世代のネットワークづくりを
進めるとともに、農業の基礎知
識・技術の習得、専門的な知識
技術、経営感覚の涵養をテーマ
に3年間の研修を行っています。
十九年度の経営体育成セミ
ナーは五月開講の予定です。新
規就農される方等で、興味のある方は農林振興センターまで問
い合わせください。(伊藤静雄)

0.4mm目ネットで防ぼう

タバココナジラミと

トマト黄化葉巻病

薬剤が効きにくいタバココナジラミ、バイオタイプQが県内各地で確認され、平成十八年秋にはトマト黄化葉巻病の発生も伊旛各地で確認されました。これらの対策として、0.4mm目ネット展張の効果とトマト抑制栽培への影響を試験しました。

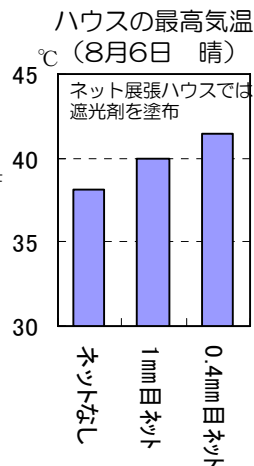


◆細かいネットで侵入防止

1mm目ネットを開口部に張ったハウス内でもコナジラミが発生します。より目合いが細かい0.4mm目ネットを張ることでより侵入防止効果が高くなりました。

◆ネット展張による高温の影響

ハウスの天井に遮光剤を塗布しても、ネットを張ったハウス内では、通気性が悪くなり気温が上昇します。



しかし0.4mm目ネットの試験ほ場3ヶ所とも今年収穫量の差はありませんでした。

タバココナジラミ、トマト黄化葉巻病対策には、高温対策等を併用した0.4mm目ネットの展張で自己防衛が必要です。

(田中亜紀子)

ポジティブリストの対応

食品衛生法改正に伴う残留農薬のポジティブリスト制度が昨年施行されました。このため、農薬を使用する際には従来通り農薬取締法で定める使用方法を遵守すると同時に、周辺作物へのドリフト(飛散)防止を徹底しなくてはなりません。

- ① まずは近接作物栽培者と連携をとり、収穫時期等に注意して農薬の散布を行いましょ。
- ② 農薬の散布にあたっては、粉剤であればDL(ドリフトレス)粉剤、液剤であればドリフト低減型ノズルを使用し、ドリフトの低減を図ります。
- ③ 近接作物との間に十分な緩衝地帯が確保できない場合には、遮蔽物を設置します。

露地畑では、安価で成長が早いソルゴーなどの緑肥作物をほ場の周囲に植えることで、周辺

作物へのドリフト低減を図ります。恒常的な対策として用いるのであれば、適当な高さの生け垣の造成も有効です。

果樹園では農薬飛散防止ネットの導入が検討されています。1~2mm目(いずれもラッセル織り)のネットであれば、かなり高いドリフト低減効果が得られます。



梨園での農薬飛散防止ネット

これらの防止策を組み合わせてドリフトの低減に努めるとともに、生産者間の連携によって地域の課題として対応していくことが重要です。

(吉沢雅弘)

二人三脚で支えるJA成 田市農産物直売所の加工

成田市農産物直売所の加工部門を支える鵜沢さく子さん(写真左)、石井和子さん(右)を御紹介します。ともに「アグリライフなりた」の会員で、料理講習や直売所等の視察研修に参加し、機会があれば農産加工販売に挑戦したいと考えていました。

直売所開設に併せて平成十五年六月に飲食店営業の許可を得て農産加工活動がスタートしました。



鵜沢さんと石井さん

水稲経営が中心なので、おいしいお米をどう提供するかで試行錯誤し、それぞれの家庭の味にこだわりながら、おにぎり・

お寿司・まぜごはん・赤飯等を加工しています。

鵜沢さんは、「おいしかったよ」の声を聞くために味を落とさないよう心がけています。



鵜沢さんの「おふくろの味おにぎり」食べやすい1個入りパック

石井さんは、お客様に喜んでいただけるよう、そして自分の健康のためにも頑張っています。



石井さんの「具がたっぷり巻寿司」と「味のしみこんだいなり寿司」

両家とも、ご主人の協力に感謝しながら自分達の選んだ道を一步一步あゆんでいます。

(新井洋子・引地睦子)

新指導農業士・農業士のご紹介

本年度の千葉県指導農業士と千葉県農業士の認証式典が、平成十八年十一月十三日に千葉県庁で行なわれました。

農業士は地域農業のリーダーとして、指導農業士はそれに加えて後継者育成に尽力され今後一層のご活躍が期待される方を知事が認証するものです。

印旛郡市では、指導農業士4名、農業士2名が認証されました。写真右から順に敬称略でご紹介します。

- 小坂 美恵子 (酒々井町)
 - 高木 昭一 (成田市)
 - 吉川 孝男 (富里市)
 - 篠原 美恵子 (富里市)
 - (以上指導農業士)
 - 加藤 将行 (成田市)
 - 小泉 輝夫 (成田市)
 - (以上農業士)
- 県農業改良課長 日暮 規夫
県農林水産部長 川島 彰比古

(以上農業士)



「帰農者支援セミナー」に参加
しませんか！

定年等をきっかけに、農業に
取り組む帰農者が少しずつ増え
てきました。

そこで仲間づくりや基礎的な
農業知識の習得を図るために
「印旛帰農者支援セミナー」を
開催しました。本年度は3回実
施し、8市町から20名が参加し、
講習や視察研修、農業機械体験
など熱心に学習しました。



(農業機械の操作体験)

参加者は直売所での野菜の販
売やブルーベリーの栽培などに
関心が高く、情報交換も積極的
に行いました。

このセミナーは平成十九年度
も開催する予定です。「定年等ま
たは36歳以上で農業に就農し
ようとしている人及び5年以内
に就農した人」を対象とします。
お問い合わせ・参加の申し込み
は農林振興センター改良普及課
までお願いします。

(郡司喜代子)

富里市農業士会と連携による

就農促進講座を開催

平成十八年十二月十五日、富
里市農業士会と印旛農林振興セ
ンターの共催で印旛地域就農促
進講座が開催されました。これ
は、農業現場の視察を通して高
校生の就農促進と、農業士会が
地域農業の発展を進める上で若
者の考え方を知り参考とするこ
とが目的です。

印旛管内の印旛高校、成田西
陵高校、下総高校、千葉黎明高
校の4校から生徒と教諭38名、
富里市農業士会、関係者を合わ
せ66名の参加がありました。

当日は花き経営の加瀬ナーセ
リー、野菜経営の内山義章氏、
JA富里市集荷場などを視察し
ました。高校生は農業現場に接
し、農業士会の方々と意見交換
をしながら、非常に興味を示し
ていました。富里市農業士会で
も担い手を確保する上で農業高
校等学校教育の重要性を再認識
しました。



この講座を
きっかけに
農業と教育
現場の連携
がますます
密接になる
ことを望み
ます。

(北野聡)

米粉を使った

新商品ができました！

佐倉市では地元の米粉を使っ
た取り組みが活発です。このた
び、千産千消費産物「めっちゃう
ま加工品づくり」推進事業によ
り、地域の業者と協力して米粉
商品を開発しました。

佐倉米粉めん

米粉を70%使用し
た、つるつるとした
食感の麺です。昨年
十二月から佐倉市役
所食堂のうどんはこの麺を使用
しています。



焼き菓子「焼き栗くん」

米粉をベースとした、
しっとりときめ細かい
生地焼き菓子です。
佐倉市内の和菓子店
「太田堂」で販売中
です。



地元で生産されたコシヒカリ
の米粉を使った新しい味をぜひ
御賞味ください。(風戸治子)